

令和5年2月13日 市長記者会見 会議録

- < 開催時間 > 14:00～
- < 会場 > 庁議室（市役所本館3階）
- < 会見案件 > 令和5年度当初予算案及び令和4年3月補正予算案の概要について
- < 出席者 > 市長、副市長、総務部長、都市整備課長、新幹線整備課長、新幹線プロモーション課長、おもてなし観光推進長、農政企画課長、道路課長、教育総務課長

< 発表内容 >

【福井市長】

本日は、「令和5年度当初予算案及び令和4年度3月補正予算案の概要について」ご説明申し上げます。

はじめに、本市にとって永年の悲願でありました北陸新幹線福井開業まであと1年となりました。関係者の皆様の長年にわたる熱意とご尽力、そして市民・県民の願いが叶い、令和6年春には、夢と希望をのせた北陸新幹線「かがやき」が福井駅ホームに入ってまいります。これからの1年は、開業に向けたハード整備、ソフト事業の総仕上げのため、県や県内の市町、関係機関と連携し、全力で取り組んでまいります。

ところで、新型コロナウイルス感染症については、政府は今年5月8日に感染症法上の位置づけを2類から5類へ移行し、社会活動の正常化を目指すこととしております。しかしながら、新型コロナは、いまだ完全に収束したとは言えず、また、原油価格・物価高騰による光熱費や燃料費の高止まりなども続いておりますが、一日も早く社会経済活動を正常化し、将来にわたり安全・安心な生活が送れるよう、引続き全力を尽くしてまいります。

さて、令和5年度は、北陸新幹線福井開業をはじめ、新ごみ処理施設や新学校給食センターなどの大型公共工事の本格化や、市街地再開発事業の一部完了など、本市にとって大きな転換期となります。こうした「ふくいの新しい時代」を、自らが切り拓き、本市の魅力・輝きを着実に高め、発信していかなければなりません。このような想いを込めまして、令和5年度当初予算は、『新たな時代を拓く「ふくい」の輝き実現予算』として、編成いたしました。

それでは、お手元のカラー資料「令和5年度福井市当初予算案資料」の1ページをお開きください。令和5年度当初予算のポイントについて、ご説明申し上げます。

福井市財政計画に基づく「健全な財政運営」を根幹に置きながら、「北陸新幹線開業に向けた総仕上げ」、「安全・安心で豊かな地域づくり」、「未来を担う次代への投資」の3つの柱を掲げました。

まず、1つ目の柱、「北陸新幹線開業に向けた総仕上げ」として、100年に1度と言われる新幹線開業のチャンスを最大限に活かすため、開業準備の総仕上げと観光資源等のさらなる磨き上げなどに、総力を挙げてまいります。

具体的な事業といたしましては、2ページに掲載しています。まちなかの賑わい創出や地域経済の活性化、本市の認知度向上とイメージアップのための情報発信や誘客拡大に向けた観光プロモーションなどに取り組みます。

3ページをお開きください。2つ目の柱、「安全・安心で豊かな地域づくり」として、市民の皆様が安全・安心に生活を営むことができ、より豊かな地域となるよう、力を注いでまいります。特に、子ども・子育て政策について、政府では、最重要政策と位置づけており、本市としても最重要政策の一つとして、国の動向を注視しつつ、しっかりと取り組みます。また、県内初のフルマラソン「ふくい桜マラソン 2024」の開催や、商工業・農林水産業への支援、防災・生活基盤の強化に取り組みます。

4ページをお開きください。3つ目の柱、「未来を担う次代への投資」として、生活基盤への投資や、未来の福井を担う次世代への投資など、ハード・ソフトの両面から積極的に取り組むものです。

具体的な事業としましては、新ごみ処理施設の建設など市民生活に必要な生活基盤への投資や、新学校給食センター、子どもの遊び場など未来を担う子どもたちのための施設整備に取り組みます。

さらには、人への投資として、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するための重層的支援体制整備事業や、地域おこし協力隊制度を活用した新たな取組を開始いたします。

5ページをお開きください。デジタルトランスフォーメーション、いわゆるDXやゼロカーボンシティの推進といった視点を各種施策に積極的に反映してまいります。

6ページをお開きください。本年度も、若手職員の政策形成能力を向上し、柔軟な発想に基づくアイデアを市政に生かす「チャレンジみらい予算」を設定しております。今回で、4回目となりますが、今回は新たに、所属の垣根を超えて、仲間と共に提案を行う「チーム提案」を実施いたしました。

これらの施策に着実に取り組み、大きく展開・発信していくことで、『本市にとっての新しい時代を拓き、本市の輝きを実現』してまいりたいと考えております。予算のポイントは、以上です。

資料の7ページをお開きください。

本市の令和5年度当初予算の規模は、

一般会計で、 1,297億7,500万円

特別会計で、 765億9,100万円

企業会計で、 317億8,700万円

となり、

全会計の総額は、2,381億5,300万円

となっております。

さらに、令和5年度当初予算と併せて、令和4年度3月補正予算につきましても、提案しております。それでは、予算案の内容につきましても、財政部長から説明いたします。

【財政部長】

それでは、私から、まず当初予算の内容につきましても、ご説明申し上げます。

10ページをお開きください。第八次福井市総合計画の体系に沿って、新規事業や拡充事業などを中心に、ご説明します。なお、赤いメガホンマークのある事業は、チャレンジみらい予算でございます。

まず、「分野1 快適に暮らすまち」、政策1「公共交通を利用して様々な人が便利に行き来できる快適なまちをつくる」です。「すまいるバス グリーン化プロジェクト」については、すまいるバス車両のEV化およびキャッシュレス化を支援します。また、「福井駅南側自転車駐車場整備事業」では、福井駅南側に自転車駐車場を整備し、市民の利便性向上を図ります。

11ページをお開きください。政策2「まちなかの充実した都市機能により、にぎわいと交流のあふれる心弾むまちをつくる」です。「県都にぎわい創生推進事業」については、福井商工会議所、県、市で構成する協議会において策定した「県都グランドデザイン」の将来像実現に向け、にぎわい創出や地域経済の活性化を図るための各種プロジェクトを推進します。

次に、政策3「持続可能で強靱な社会基盤と安全で快適な生活環境が整ったまちをつくる」です。「盛土規制法関連事業」については、危険な盛土等を包括的に規制し、盛土等に伴う災害を防止するため、規制区域指定のための基礎調査を実施します。

12ページをお開きください。「分野2 住みよいまち」、政策4「地域の魅力を発信して人の流れを呼び込み、持続可能で活気あふれるまちをつくる」です。「福井市地域コミュニティDX推進事業」については、地域住民のデジタル利活用の向上やデジタル格差の解消を図るため、講習会や啓発活動を実施します。また、自治会活動の円滑化、効率化に向けたデジタル化を支援します。

次に、政策5「誰もが尊重され、それぞれの個性や能力を発揮しながら、活躍できるまちをつくる」です。

「スロベニア共和国との交流事業」については、東京2020オリンピック・パラリンピック大会のホストタウン交流を契機としたスロベニア共和国との友好関係をさらに発展させるため、クラン市との人的交流を行います。

13ページをご覧ください。政策6「市民の健康を守り、誰もが夢や生きがいを持って安心して暮らせるまちをつくる」です。「ふくっこ応援事業」については、妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施します。

次に、政策7「環境にやさしい持続可能なまちをつくる」です。新たなごみ処理施設の整備に向けて、施設の建設工事に着手します。

14ページをお開きください。政策8「市民・事業者・他自治体等と連携して災害・事故に強い安全・安心なまちをつくる」です。「防災センター展示・体験施設環境整備事業」については、より学習効果の高い施設となるよう、防災センターの展示・体験施設の改修を行います。

次に、「分野3 生き活きと働くまち」政策9「未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる」です。「農林水産物特産品販路開拓事業」については、嶺北連携中枢都市圏内の農林水産物や加工品の販路開拓・拡大を図るため、市町や生産者、製造業等と連携し、情報発信やPRなどを行います。

また、「林業地域おこし協力隊制度構築事業」では、首都圏等の地域から人材を誘致し、林業等の新たな担い手として

の活動のほか、地域活動等にも積極的に参画し、本市への定住・定着を図ります。

15ページをお開きください。政策10「新たなチャレンジを後押しし、活力と魅力あふれる商工業が発展しつづけるまちをつくる」です。「ふくい企業価値向上推進事業」では、人材の育成や、DX等への取組を支援することで、中小企業者の価値向上を目指します。

次に、政策11「福井の魅力「福いいネ!」を実感できる、おもてなしの心があふれる観光のまちをつくる」です。「ふくいプロモーション事業」では、首都圏等に向けた戦略的かつ効果的な情報発信を行うとともに、新幹線開業を市民とともに祝福し、来福者を歓迎する開業記念イベント等を開催します。また、観光プロモーションを強化します。

16ページをお開きください。「分野4 学び成長するまち」、政策12「文化や歴史、自然を、郷土の誇りとして未来につなぎ、個性豊かな魅力あるまちをつくる」です。

「養浩館庭園開園30周年記念事業」については、特別イベントとして、俳優の榎木孝明氏による朗読会などを開催し、養浩館庭園の新たな魅力を全国に発信します。

次に、政策13「健やかで自立心をもって未来を切り拓く子どもを育むまちをつくる」です。

「車椅子利用者用トイレ整備事業」については、学校施設に車椅子利用者用トイレを整備し、誰もが不自由なく利用できる環境を整えます。

また、「新学校給食センター整備運営事業」では、令和6年4月のセンター供用開始に向けた整備工事や新たに配送校になる小・中学校の配膳室改修等の開設準備を行います。

17ページをお開きください。政策14「市民が生涯にわたり、学習やスポーツに親しめるまちをつくる」です。

「ふくい桜マラソン開催推進事業」については、県内初のフルマラソン「ふくい桜マラソン 2024」が安全・安心な大会となるよう、着実に準備を進めます。また、大会を通して、福井の魅力を全国に発信し、交流人口の拡大、地域経済の活性化、スポーツ文化の醸成を図ります。

また、「市立図書館リニューアル事業」では、市立図書館を地域交流センターとの複合施設とするリニューアル工事を進めます。市内の公共施設で初めて、環境に配慮した省エネ効果の高い建築物であるZEBReady(ゼブレディ)を実現し、ゼロカーボンを推進します。

最後に、「総合計画を推進するために」として、「未来につなげる持続可能な行政を運営する」です。

「ふるさと納税推進事業」については、本市を継続的に応援してくれる人や企業を増やすため、民間事業者を活用し福井市版ふるさと納税を推進します。

18ページをお開きください。「国の第2次補正予算に連動して編成した令和4年度3月補正予算」です。総事業費は、56億9,068万4千円、事業数は、17件です。個別の事業につきましては、記載のとおりです。

以上、概括的ではございますが、令和5年度当初予算案の概要につきまして、ご説明を申し上げます。なお、事業内容の詳細につきましては、別添の『当初予算案の概要』をご覧くださいませよう、お願いいたします。

続きまして、先程の「国の第2次補正予算に連動して編成した令和4年度3月補正予算」と一部、重複しますが、3月補

正予算案の概要につきまして、ご説明を申し上げます。

今回の補正予算案は、原油価格・物価高騰への対応に関する事業、新型コロナウイルス感染症対応に関する事業及び国・県の補助金等を活用して行う事業のほか、各事業の精算に伴うものなどについて計上するものです。それでは、お手元の資料「3月補正予算案の概要」によりましてご説明を申し上げます。

1ページをご覧ください。

補正予算の規模は、

一般会計で、61億8,776万2千円を

特別会計では、

国民健康保険特別会計で、1億8,072万8千円を

地域生活排水特別会計で、1,850万円を

企業会計では、

簡易水道事業会計で、10万円を

下水道事業会計で、3億5,458万1千円を

それぞれ追加しております。

その事業の内容につきまして、ご説明を申し上げます。

6ページをお開きください。第一に、原油価格・物価高騰への対応に関する事業としまして、1番から3番につきましては、原油価格等の高騰の影響を受けた地域鉄道事業者、バス および 指定管理者に対し、それぞれ支援します。

7ページをご覧ください。第二に、新型コロナウイルス感染症対応に関する事業として、障がい者支援施設等の介護負担軽減などを図るため、事業者のロボット導入を支援します。次に、障がい福祉現場における業務効率化等を推進する事業者のICT導入を支援します。次に、コロナ対策の備品等を購入する際に要する経費に対して補助します。

8ページをお開きください。保育士の業務負担を軽減するICT等を活用した業務システムの導入を支援します。

第三に、国・県の補助金等を活用して行う事業として、物価高騰の影響を受けている市街地再開発事業について、国の支援制度を活用して支援します。

次に、福井県JAグループが、県内メディアと連携して行う次世代型の新たな販売・交流拠点の整備を支援します。

次に、校舎や体育館の外壁の全面点検を行い、危険な箇所の落下防止対策を行います。

9ページをご覧ください。校舎や体育館等 学校施設の大規模改修を行います。

次に、感染症対策を図りながら、子どもたちの健やかな学びの環境を保障していく「新たな日常」を実現するため、小中学校の特別教室に空調設備を整備します。

次に、令和6年4月の供用開始に向け、新学校給食センターの整備工事を行います。

次に、単独調理校の食中毒防止や労働環境の改善を図るため、給食室に空調設備を設置します。

10ページをお開きください。15番から17番につきましては、交通の安全性を確保するため、橋梁の補修や老朽化した道路の舗装打換え、幹線道路の整備を行うものです。

次に、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業等に対し、その事業費の一部を負担します。

11ページをご覧ください。県が実施する各種土地改良事業に対し、その事業費の一部を負担します。

次に、電気料金の高騰や国の経済対策に伴い、下水道施設の運転や老朽化対策に係る事業費を増額します。

第四に、その他各事業の精算に伴うものでございます。

- ① 生活保護扶助費等の増加
- ② 障がい福祉サービス施設・事業者に対する新型コロナウイルス対策費用の増加
- ③ 特定不妊治療費の助成額増加

に対応するため、それぞれ事業費を増額します。

12ページをお開きください。

- ① 国民健康保険給付費の支払額の増加
- ② 北陸新幹線建設負担金の増加
- ③ 移住者の増加

に対応するため、それぞれ事業費を増額します。

次に、電気料の高騰に伴う広域ごみ処理施設の共同処理負担金の増額分を負担します。

次に、森林環境譲与税基金条例に基づき、令和3年度の剰余金を基金に積み立てます。

13ページをご覧ください。次に、国庫補助金等の超過交付分を返還します。

第五に、継続費の補正でございます。原材料価格等の高騰により工事費が増額となるため、北部地域学校規模適正化事業の継続費を変更します。

以上、令和4年度3月補正予算案の概要につきましてご説明をさせていただきました。よろしくお願ひ申し上げます。

< 質 疑 応 答 >

【福井新聞】

来月3月にはよいよ新幹線開業1年前のイベントが開かれ、今回の予算でも200日前、150日前、100日前とカウントダウンイベント等気運醸成に向けたイベントも数多く拝見させていただきました。改めて1年の総仕上げと位置付ける今回の予算で、どのような効果を上げていきたいか、考えをお聞かせください。

【福井市長】

先日、東京でいろいろと話をさせていただいた際も、福井に新幹線が通ることへの認知度が低く、少し落胆しました。新幹線が来るということを知っていただき、福井へ一度行ってみようという流れをしっかりと作っていく必要があると思い、何日前イベントという形で、PRしていこうと計画しています。しっかりとPRしていくことで新幹線福井開業の認知度を上げていき、福井に行く際は、ぜひこういうものを見てこようといった形になってくれれば嬉しいです。

【福井新聞】

今回の予算は物価高騰等の影響がいろんな施策にも反映されていると思います。先ほど生活の支援では今後の国の動きも注視しながらというお答えもありました。今回の任期最終年度の予算編成にあたり、いろんな課題がある中で、どのようなことを実施していくか、市長のお考えをお聞かせください。

【福井市長】

まずは、今、新しい施設を作る事業が集中しており、財政的に厳しい中で予算を作らせていただくということで、気持

ちを引き締めて作成しました。これまで大雪の煽りを受けるなど、色々な課題もあったわけですので、しっかりと超えていかなければならないと思っています。

【NHK】

今の質問にも関連して、物価高騰や新幹線などいろいろと難しいところが重なる中で、4年連続、過去最大の予算規模となっていますが、今後の財政再建や財政健全化という目標に向けては、今回の予算の影響があるのか、また今後どのように財政の健全化に努めていきたいか、お考えをお伺いします。

【福井市長】

大雪など自然災害もあり、なかなか先の展開を予測するのは難しいですが、実情を見ながらしっかりとした考え方をもち、対応していくことが必要だと思っています。

これからも課題を一つ一つクリアできるような計画を作り、その計画に従って、予算を計上しました。これから先の展開は、何とか方向性を持ちながら進んでいけるのではないかと考えています。

【NHK】

何とか方向性を持って進んでいけるのではないかと、厳しくはないのではないかと話ですが、例えばどういうところでそれを感じますか。

【福井市長】

難しいが、財政調整基金をまだ増やしきっていないので、増やすという予定でいますが、ここ何年間かの流れを見ても、何とか積み上げていけるのではないかと考えています。

先ほども申し上げたように、新しい施設などの建設費用の部分がクリアされていくと、もう一つすっきりとした形になるのではないかと考えています。

【NHK】

施設整備が色々重なっている時期を乗り越えさえすれば、健全化は進んでいけるのではないかとのお考えだという事ですね。一方、物価高騰は、今後どこまで続くかわからない状況だと思うのですが、そのあたりの今後の影響はどのようなふうに見ていますか。

【福井市長】

物価高騰の影響は色々なところに出てきています。特に今回は電気料の値上げが、それぞれの施設に影響しています。また、思いがけないところに影響が出てくるのが考えられるので、日々のチェックの中で、しっかりと確認していく必要があると考えています。

ただ、物価高騰は福井市だけの問題ではなく、全国的な問題なので、全国の動向も見ながら、早い段階で課題を見つけ出し、それに対する対応を、国等にも話を上げていくことが必要だと考えています。

【毎日新聞】

市街地再開発の関連で、例えば予定より事業費が増え、今回の予算の中でも、たくさんの支援事業を手厚く付けられるなど、資材価格の高騰などが影響していると考えられますが、今後の福井駅前再開発事業の見通しや厳しさなどをどう受けとめていますか。

【福井市長】

今回は特に国が物価高騰に対する対応などの制度を考え、その制度に乗っかり、福井市でも対応をとることにしました。しかし、状況の変化や期間の問題などによって、国の制度に福井が該当しなくなると非常に苦しいので、常々物価の状況、再開発事業の進捗状況などのチェックが必要になってくると考えています。

【福井テレビ】

北陸新幹線福井開業まで残り1年となり、市の事業予算の中でも、多くの新幹線関連事業があると思います。当初予算として金額が過去最高ということで、この予算に対する市長の思いを改めてお聞かせください。

【福井市長】

この1年間をかけて、しっかりと対応していくということが必要で、さあ、今から進むぞという気持ちです。

【福井テレビ】

先日杉本知事と西武福井店の件で上京されたと思いますが、改めて市長がお話になった内容や市長の感触といたしますか感想をお聞かせいただきたいです。

【福井市長】

そごう・西武の社長からは、何とか西武福井店を残していきたいということを聞かせていただきました。福井市としては、西武福井店を継続して営業していただくことを応援していきたいとお伝えしました。

【読売新聞】

コロナ禍や物価高騰の状況の影響があると思いますが、令和5年度当初予算案の内容について、市長ご自身が行ったことをどれくらい盛り込みましたか。

【福井市長】

予算があれば、まだまだできたのという気持ちはあります。物価上昇の影響で、本来できる仕事の8割ほどしかできないこともあり、金額等の整合性が非常に難しくなっていることは確かです。

ですので、やろうと思っていることの8割ぐらいしかできませんが、予算を執行していく中でさらに工夫し、(8割以上の)成果を上げられるよう考えながら行いたいと思っています。

【読売新聞】

予算がもう少しあればとの話もありましたが、例えば子育て支援など予算作成の中で本来ならばやりたかったことはありますか？

【福井市長】

文化会館の問題など前々からの課題がいくつか残っています。それらの課題に対応できれば一番いいが、例えば道路や河川など市だけでなく、国や県が関わってくる案件もあり、予算の執行主体が異なるため、精査が難しい部分もあります。

【日本経済新聞】

今回の予算案の中で西武福井店の支援として、まちなかにぎわい波及事業を計上していますが、行政が予算計上して支援をする意義を教えてください。

【福井市長】

福井のまち中にデパートは一つしかなく、そして集客力が大きいという中で、販売も含めてまちなかに人が集まる要素を作っていただいています。西武福井店に人が集まることで、近隣の他の店への波及効果も非常に大きくなっています。これらのことから、できることをやってきた結果がここにあると思います。

【日経新聞】

首都圏での認知度不足について最初にお話されていましたが、今回つけているプロモーション事業予算で一番認知度向上に役立つと考えている施策はどれになりますか。

【市長】

私もこの間東京へ行き、東京の方といろいろ話をしてきましたが、福井市としての思いがそのまま結果とイコールになることは難しく、もう少し考えていかなければいけないなと思い知りました。

【日経新聞】

来年度、福井市として一番力を入れていくプロモーション施策はどれになりますか。

【市長】

色々なものがありますが、ふくい桜マラソンかなと思います。全国でもうマラソンをやっていない都道府県は福井だけなので、それを逆手に取り、ふくい桜マラソンに参加できれば、全国のマラソンに参加できたことになるということですので、そこは推し文句だと思っています。

【日経新聞】

再開発について伺いますが、今回物価高騰などの影響で、事業費不足ということで、3月補正で予算をつけていると思います。今後も物価高騰含めて事業費上がっていく可能性は各再開発地域であると思うのですが、その度に市として支援をしていくのでしょうか。

【市長】

物価高騰した分を全て支援できるかは非常に難しいところです。まちづくりの観点から見ると、できることなら福井市としては、中途半端に終わることがないように、完成までを見据えた支援をしていかなければいけないという気持ちは非常に強く持っています。これからできる国の支援制度次第では、支援できる程度が違ってくるのではないかとこの恐れも感じています。

【日経新聞】

チャレンジみらい予算17事業のうち、市長が、期待されているもの、面白いと思ったものを教えてください。

【市長】

2年後に橋本左内先生の生誕190年ということで、傷んだ資料を、クラウドファンディングを活用して、この2年間の間に直そうという予算です。着眼点を含めて面白いなと思っています。

【中日新聞】

新幹線の福井プロモーション事業について、今年度の倍近い予算額になっていますが、この事業について期待するところ、力を入れていきたいところを教えてください。

【市長】

来年度は100日前、200日前イベントと、イベントを打ち出す回数が多くなっているため、予算額が大きくなっています。また、福井だけでプロモーションしていくのではなく、県外とどのようにリンクしてプロモーションしていくかということで、予算額が大きくなっています。そういう意味からも、抜け落ちることのないような、うまくいくかどうかということ、頭を研ぎ澄ましてしっかりと先の姿を描いた形で実行をしていかなければならないと思っています。

【中日新聞】

県外とリンクしていくというのは、新幹線沿線と連携していくということですか。それとも首都圏や沿線地域以外に対して働きかけていく上で経費がかさんでしまうということですか。

【市長】

沿線地域以外からも福井に来てもらいたいですが、まずは沿線地域の熱が上がらないと長く定着をさせられないと思いますので、基本的には沿線地域をターゲットに考えています。ただ、雑誌やビデオなどによるプロモーションは、沿線地域だけには限定せず、もう少し広く捉えていきたいと思っています。

【中日新聞】

北陸新幹線沿線の地域が福井開業に関して盛り上がりには欠ける部分があると感じているということですか。

【福井市長】

既に北陸新幹線が通っている地域は、それほど盛り上がりません。

北陸新幹線開業や大阪延伸に関係のある、福井県の各駅や敦賀以西の方が、どちらかというと熱くはなっていると思います。

【中日新聞】

このようなプロモーションは、県内や市内でも、歓迎ムードを高めていくことも大切だと思うのですが、市民の新幹線に対する期待感の高まりは、どのような状態だと捉えていますか。

【福井市長】

100年に1度の好機とも言うように、新幹線が開業することについては、皆さん首を長くして待っているのではないかと考えています。新幹線開業に向けて、市民の皆さんも動かれるような仕掛けを、しっかりと展開していく必要があると思っています。

【中日新聞】

仕掛けというのは今回の予算のどれに当たりますか。

【福井市長】

予算で言うと三つの柱の中の本目の柱。「北陸新幹線開業に向けた総仕上げ」の柱に関わってくる事業が100年に1度の好機でもあるので、市民みんなと一緒に動こうという事業なので、しっかりと進めていかなければならないと思っています。

【福井放送】

新幹線の話がたくさん出ていますが、当初予算の中から新幹線以外で、市長が大事だと思っている政策を教えてください。

【福井市長】

新しい施設を作らなければならないという部分があります。新学校給食センターやごみ処理施設、フットボール場、市立図書館のリニューアルについては、しっかりと対応をとれるようにしていきたいと思っています。

【福井新聞】

スロベニア共和国との交流事業について、これまでコロナでオリンピックを契機とした直接対面での交流がなかなか難しかったものを、本格化させていく第一歩なのかなと思うのですが、どのような交流を育んでいきたいとお考えですか。

【福井市長】

交流のあり方については、細かいところまで決まっているわけではありません。

国際的な観点から見て、日本の中の1市町村である福井市とスロベニアという国が、直接交流することはなかなか難しいため、どのような形で交流していくといいのか、いろいろと議論を重ねてきました。

そのような中クラン市からお声掛けがあり、クラン市と福井市との交流であれば、市と市との関係になるので、そのような形で交流ができないかという話になっているところです。クラン市からも訪問していただき、福井市からも訪問し、お互いに具体的な部分を考えていく必要があると思っています。

【福井新聞】

どんな交流、どんな関係を築いていきたいと考えていますか。

【福井市長】

クラン市と福井市の共通点を軸にすれば話は進みやすいだろうと思っています。水仙やそばといった共通点を大切に考えていきたいと思います。

【福井新聞】

懸案だったら膝の具合はいかがでしょう。

【福井市長】

何とか無事に退院できました。わたしも医者ではないので、詳しくはわからないのですが、半月版を半分ほど取ったと聞いています。残った部分を大事にしていかなければと思っています。